

企業会計 総額112億6,085万円

会計名	予算額
水道事業	収入 12億4,238万円
	支出 19億6,172万円
下水道事業	収入 76億8,803万円
	支出 91億2,339万円
国民宿舎事業	収入 1億391万円
	支出 1億7,574万円

特別会計 総額168億4,100万円

会計名	予算額	会計名	予算額
土地取得造成事業	205万円	後期高齢者医療事業	12億5,959万円
揖龍公平委員会事業	76万円	介護保険事業	70億116万円
国民健康保険事業	84億8,044万円	病院事業債管理事業	9,700万円

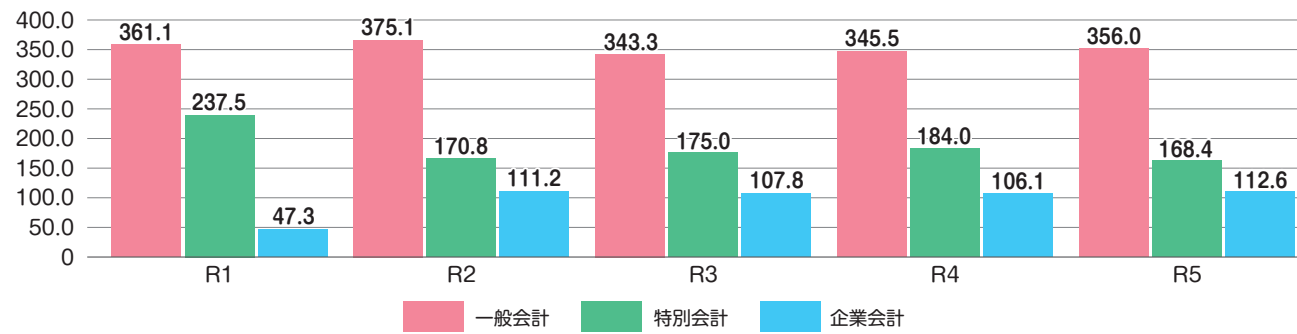
※令和5年度から、一般会計編入のため学校給食センター事業特別会計が廃止となっています。

令和5年度
当初予算

未来応援 住みたいまち たつの
「夢を拡げる未来のかたち」

予算総額 637億185万2千円 (対前年度 1億3,664万1千円の増)
一般会計 356億円 (対前年度10億5,000万円の増)

一般、特別、企業会計の予算推移 (億円)

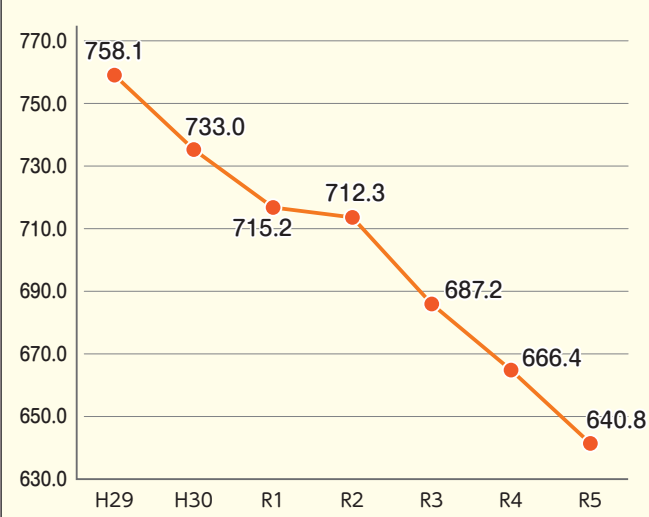


健全な財政運営の維持

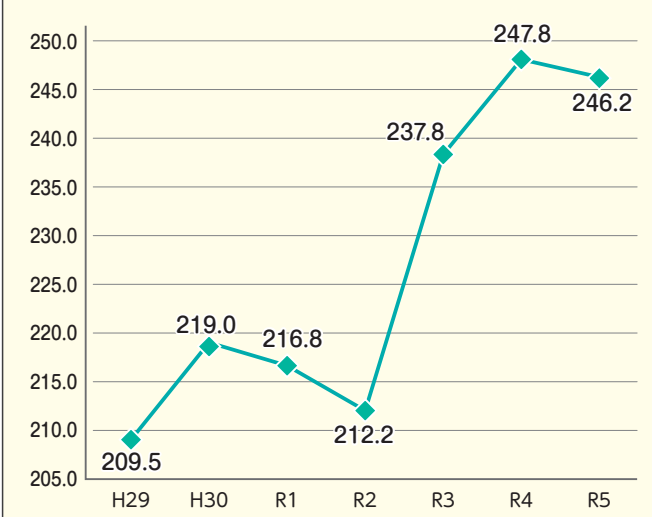
投資的事業(家計で言うところの住宅の建築や車の購入)等の財源とする地方債(家計で言うところのローン)の令和5年度残高見込額は640億8千万円、一方で公共施設整備や財源不足時の備え等のために積み立てた基金(家計で言うところの貯金)の現在高見込額は246億2千万円となっています。

地方債については、過去の借入れの償還が進んでいるため減少傾向にあります。基金については、福祉の充実やより良い教育環境づくり、公共施設の整備のための取り崩しなどにより減少する見込みです。今後も計画的に投資的事業等に活用しながら健全な財政運営に努めていきます。

地方債残高 (億円)



基金現在高 (億円)



※いずれも、一般会計、特別会計および企業会計の合算値です。
※R4以降の金額は見込額です。

一般会計歳出予算の主な構成

民生費 33.9% 120億7,973万円 (市民1人あたり約16万3,248円)
子育て支援施策や高齢者・障害者のための福祉施策などに要する費用

土木費 17.9% 63億8,614万円 (市民1人あたり約8万6,304円)
道路の建設・修繕や市営住宅の管理運営などに要する費用

教育費 12.3% 43億8,570万円 (市民1人あたり約5万9,269円)
小・中学校の教育や教育施設の維持管理、文化スポーツの振興などに要する費用

公債費 9.9% 35億3,651万円 (市民1人あたり約4万7,793円)
道路や公共施設の建設のための借入金の返済に要する費用

総務費 9.1% 32億4,994万円 (市民1人あたり約4万3,920円)
市役所の整備・管理や住民票の発行、選挙の執行などに要する費用

衛生費 6.9% 24億5,730万円 (市民1人あたり約3万3,209円)
予防接種の実施や健康増進事業の実施、ゴミ・し尿の処理などに要する費用

その他 10% 35億468万円 (市民1人あたり約4万7,363円)
消防団車両の整備や商工業の振興、有害鳥獣対策、市議会の運営などに要する費用

令和5年度予算の重点と主な事業

人を育み、誰もが健やかに暮らせるまちづくり

- 出産・子育て応援金給付事業
- 市内こども園等における園児の安全管理
- 小中一貫校整備事業
- 小中一貫教育推進事業
- 未来を創る芸術文化育成事業
- 不登校児童生徒支援事業
- 学校部活動地域移行体制検討事業
- ICT活用高齢者見守り支援事業
- 生活困窮者自立支援事業
- インクルーシブ公園の整備

活力と魅力ある力強いまちづくり

- 龍野IC周辺まちづくり区画整理事業
- 竜野駅周辺整備事業
- 若者定住促進奨学金返還支援事業
- 三世同居定住促進住宅改修支援事業
- 農産物ブランドカアップ事業
- 防災行政無線機器の更新
- 消防団員報酬の改定

新時代にふさわしいまちづくり

- 業務デジタル化推進事業
- 3D都市モデル整備活用事業
- 県共同利用の公共施設予約システム導入
- ゼロカーボンシティ推進事業
- 公用車両更新事業(電動車)
- 旧県営住宅跡地の再開発
- 中心市街地まちづくり検討事業

その他重点取り組み

- たつの市観光協会主催「全国京都会議」の開催

※令和5年1月31日現在の人口73,996人をもとに市民1人あたりの額を算出しています。また、円単位未満は四捨五入しています。
※本ページ内の表中数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。